

事業所名

児童支援事業所ガラパゴス・ガラパゴス基山

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

24 日

法人（事業所）理念		子どもの全てを大切に、大人が子どもの幸せを必死に考え追求し続けるガラパゴスであり続ける。 困りごとには、観察力・分析力・解決力を持って結果をだします。											
支援方針		18歳以降の長い人生を心豊かに生き続けることができるように、子ども自身の自力を育て生きる技術を持たせたいと考えています。親ではない別の大人が、子ども時代に丁寧に寄り添い、育み、生きる力を伝え続ける必要性を子どもの関係者に説き続け、専門性を持って子どもに向き合います。問題や課題ができれば、それらをクリアし、より生きやすく過ごしやすい、自分自身や環境を作る力を身に付けてもらう支援をおこないます。											
営業時間		平日日課	9	時	30	分まで	18	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	9	時	30	分まで	17	時	30	分まで			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活スキル（衣類の着脱・食事・排泄・掃除など）を個別に合わせ支援を行っていきます。</li> <li>健康管理が必要な方はご家族と情報共有を行います。</li> <li>調理実習などのイベントを通して楽しく生活スキルを身につけます。</li> </ul>											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や足場の悪い山歩きなど様々なアクティビティを通して体を動かすことを行います。</li> <li>感覚過敏や鈍麻がある子には個別に合わせてスケジュールや環境を整え提供します。</li> <li>指先の不器用さなどは製作やひも通しなどの自立課題を通して微細運動を行います。</li> <li>運動や音楽ではバランス感覚や体を伸ばす足を上げる、リズムに合わせるなどの粗大運動を行います。</li> <li>多動性の強さにより体を動かしてから着座を促すなど障害特性に合わせた生活スタイルを提案します。</li> </ul>											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知の偏りを理解したうえで視覚化・構造化などを利用して支援を行います</li> <li>個別によってスケジュールを組み、視覚的に理解しやすいイラスト・絵・実物などで提示し活動を促します。</li> <li>制作時も、視覚的にわかりやすい様手順書をみて作成しやすいようにします。</li> <li>障害特性を踏まえ個別活動では伸ばしたい部分を重点的にトレーニングをおこないます。</li> </ul>											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語のコミュニケーションに限らず多様なコミュニケーション手段を活用して、意志の伝達や表出が出来るように子どもに合った方法で伸ばします。</li> <li>絵カードやPECS、手話など個人に合った能力で意思伝達方法を見つけ支援をします。</li> </ul>											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の障害特性に合わせ、場面によっては少人数などの集団活動に参加します</li> <li>遊びの中からルールを学んだり、お手伝いから社会性を学び成長を促します。</li> <li>社会的なルールやBP0に合わせた行動を身につけるべく、地域に外出したりイベントに積極的に参加して支援を行います。</li> <li>不登校など現状に課題がある場合は解決します。</li> </ul>											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>法人として持っている情報を発信し、将来に対しての不安や悩みに対し寄り添い軽減や解消に努めます。</li> </ul>						移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業先の事業所に情報提供を行い、途切れのない支援を行います</li> <li>高校生などは、卒業を意識した課題を設定して取り組んでいます。</li> </ul>			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や併用している事業所と、情報共有を行い協力して支えます</li> </ul>						職員の質の向上		児童発達支援管理責任者、強度行動障害支援者養成研修等の資格取得支援、支援研修を随時おこない、専門性を磨きます。			
主な行事等		花見など季節を感じるイベント、川遊び、買い物体験（スーパーやコンビニ、駄菓子屋）、調理実習（おやつや昼食等）、社会施設の見学（行政機関や公共の施設）、博物館、美術館、科学館などの観覧や見学等、畑での作物を育て時間を経て物事が成り立つ道理を知ります。											